平成29年度　事務事業マネジメントシート

事業名	学校への出前授業事業			会計 / 款 / 項 / 目 / 大事 / 小事
政　策	03	３節　学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館
施　策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成	主管課長	小栗　信一郎

Ⅰ　事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小・中学生・高校生・各種団体	意図	学校教育や生涯学習の現場で、流山市の歴史や文化財について理解を深めてもらう。
事業内容	この事業は、小学校３年生の社会科単元「かわってきた人々のくらし」に対応して、学校への出前授業や学校からの団体見学で企画展「ちょっと昔のくらし」の説明をはじめ、小・中学生・高校生の職場体験、学校及び各種団体への講師派遣などが主体である。また、発掘現場や市内文化財などの野外授業、博物館や埋蔵文化財整理室での実務など、実際の現場や実物の資料・写真などを取扱いながら講義を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	社会科単元の「かわってきた人々のくらし」の対象学年が４年生から３年生に移行している。小・中学生の発掘現場見学は発掘調査が減少したため機会が少なく、出前ではなく博物館に来訪してもらう形になるなど、野外活動が減ってきている。職場体験や講師派遣については、能動的でなく受動的である。			

Ⅱ　事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		名　　称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	出前授業参加者数	708	1，178	1，183	人	→→	
	②	小学校団体見学参加者数	615	1，108	1，100	人	→→	
	③	職場体験	15	15	27	人	→→	
	④							
	⑤							
	⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			
事業費（ｂ）（円）			
うち一般財源			
職員給与費（ｃ）(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数　（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

学校教育用のバスが確保できない中で、出前授業のニーズが高くなっている。

Ⅲ　事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善　<※主管課長記入>

⑴　事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B　必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A　達成できた
		市関与の必要性	A　市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A　対象者は適切である
					コストの削減	A　削減の余地はない
総合評価	Ⅱ　継　　続　（事業を現状どおり継続すべき）					

⑵　事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	出前授業の定着
②今年度(H29)に実施した取組	小学校への出前授業がある程度周知できた。
③取組の課題	市内小中学校への博物館利用を促進する。
④今後(H30以降)の改善計画	学校との連携を深める。